



[三島水辺の文学碑](#)

三島は東海道の宿場町として栄えてきました。富士山からの伏流水が、湧き水となって町のいたる所を流れています。

「白滝公園・桜川地区」は「水の都・三島」を代表する憩いの場としても有名です。

自然と文化を大切にしたい町づくりを目的に、文学碑の建立を三島市と三島ライオンズクラブさんが実現しました。

場所は湧き水の流れる、桜川沿い(水上通り)で「三島 水辺の文学碑」と名付けられています。



[からくり人形 めぐみの子](#)

[道路案内標識](#)

三島駅から白滝公園そして桜川の右岸沿いに文学碑を観ながら、ゆっくり三嶋大社まで散策してみました。

白滝公園入り口では、からくり人形「めぐみの子」に、湧き水を汲んでおもてなしをして頂きました。また公園内は露出した溶岩の流れた跡を観る事も出来ますが、歩行時足元にはご注意ください。また道案内の標識も写真のように石碑上に表示されていますので、ご確認ください。



[大岡 信 碑](#)

[宗祇法師 碑](#)

白滝公園を後に、桜川沿いを下るとすぐに三島生まれの詩人、大岡 信氏の1号碑、つづいて2号碑宗祇法師が現れました。



正岡 子規 碑



十返舎一九 碑

歩道の周りには良く整備された花壇には、パンジー、ビオラなど、綺麗な花々がたくさん咲いており、こちらを通る人々の目を楽しませてくれています。そして3号碑 正岡 子規、4号碑 十返舎一九が登場です。



松尾芭蕉 碑



若山牧水 碑

富士山の地下水が、湧き水となり造られた、桜川の美しいせせらぎの音色を耳にしながさらさらに歩くと、馴染みの深い 松尾芭蕉の5号碑、若山牧水の6号碑が見えてきました。



カモの親子も散歩中



歩道沿いの桜川

行く方向の左側には、カモの親子や淡水魚ハヤなどが、桜川のせせらぎの中を優雅に泳いでいました、そして進行方向右側には文学者の作品記述が刻まれた文学碑、残り7号碑～12号碑を観る事が出来、トータル12碑の文学碑をご覧出来ます。

- 7号碑: 司馬遼太郎 8号碑: 窪田空穂 9号碑: 太宰 治
- 10号碑: 小出正吾 11号碑: 穂積 忠 12号碑: 井上 靖

三島駅南口から、白滝公園まで徒歩約8分、白滝公園内を10分程度散策そして「桜川」に沿って「水上通り」をのんびり30～40分かけて目と耳で楽しみながら三嶋大社まで、散策してみても如何でしょうか、7号碑から12号碑までもすべて三島を舞台とした文芸作品が描かれています。

高齢の方もゆっくり楽しめるコースです。
水と花と歴史の町三島を ぜひ観て楽しんで下さい。